

クロダイによるノリ養殖の食害被害

香川県海域では、例年10月～翌3月にかけてノリ養殖が行われています。本県では、「浮き流し式」という方式で漁業が行われており、高松地区であれば、サンポートの西側から香西の陸から近い場所でノリ養殖セットが見られます。そこで生産されたノリが最終的に皆さんの食卓に届いているのです。

そんなノリ養殖では、クロダイ等の食害に悩まされています。漁場には無数のクロダイがいることが確認されているので、甚大な被害をもたらしていると考えられており、様々な対策を試行錯誤しています。

2023年12月に、ノリ養殖漁場で捕獲されたクロダイをいくつか入手することができたので、どれぐらいのノリを食べているのか把握するため、測定してみました。予想通り、ほとんどの個体の消化管（胃あるいは腸管）から大量のノリ葉体が確認され、中には腸管をノリ葉体でパンパンに膨らませた個体も見られました（写真）。

今後、安定したノリ養殖が継続できるよう、適切な対策を検討していく必要があります。



腸管をノリ葉体でパンパンに膨らませたクロダイ

(文責 西岡俊洋)